

授業科目	航空ビジネス研究				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN3140J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	宮原 英利							
授業概要	<p>実務家教員として、旅行会社での経験や、空港勤務、海外駐在経験等で得た業務知識を基に、実例をあげながら授業を行います。</p> <p>この授業では、航空の歴史と政策、航空会社の戦略と経営から航空会社のビジネスとは何か、これからどういふ方向に向かうのかを学びます。</p> <p>特に航空会社の規制緩和が進み、保護主義から商取引では常識である「競争の原理」が導入されました。結果、航空会社が直面している課題とは何かを確認し、更に、互恵的関係にある旅行会社と航空会社の関係について学びます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 航空の歴史を説明できる。</li> <li>2 航空会社の現状と課題を説明できる。</li> <li>3 航空会社の現在の取組みを説明できる。</li> <li>4 航空会社と観光関連産業との関係を説明出来る。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	40	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	10						10	
知識・理解 (DP1-2)	10						10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5		20				25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10		20				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)	5						5	
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)	5						5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 航空の歴史を説明できる。</li> <li>2 航空会社 の現状と課題を説明できる。</li> <li>3 航空会社の現在の取組みを説明できる。</li> <li>4 航空会社と観光関連産業との関係を説明出来る。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本の航空会社の歴史を説明できる。</li> <li>2 航空会社の現状と課題を理解できる。</li> <li>3 航空会社の現在の取組みのうちの7割を理解できる。</li> <li>4 観光産業における航空会社の存在を説明出来る。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション(授業の進め方、情報収集のやり方の説明)			講義		復習:テキストの テーマの確認を行う		30

2	航空輸送の歴史 ・第2次世界大戦までの民間航空から大戦後の民間航空の発展	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
3	国際航空機関、及び国際航空政策 ・シカゴ体制とは ・自由化の流れ	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
4	空港 ・日本の空港の現状と課題	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
5	航空会社の戦略と経営 ・航空運送業の特徴・使命・環境 ・航空運送業の特徴	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
6	航空会社の戦略と経営 ・航空旅客需要の特徴 ・安全運航の追求	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
7	航空会社の戦略と経営 ・アライアンス(航空連合) 背景とグローバルアライアンスの誕生、発展	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
8	航空会社の戦略と経営 ・航空会社のネットワーク戦略とアライアンス	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
9	航空会社の戦略と経営 ・プライシングとレベニューマネジメント	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
10	航空会社の戦略と経営 ・マイルージとデータベースマーケティング ・FFPの仕組みと顧客戦略の方向性	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
11	航空会社の戦略と経営 ・CS(顧客満足)の重要性と推進策	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
12	航空会社の戦略と経営 ・CRSとインターネット時代の戦略	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
13	航空会社の戦略と経営 ・LCC(格安航空会社)の台頭と特徴	講義	テーマの箇所を精読し理解する	45
14	航空会社の戦略と経営 ・LCCの台頭と特徴 ・LCCのビジネスモデル	講義	テーマの箇所を精読し理解する。又これまでのテーマを確認しておく。	45
15	・まとめ			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	航空会社や旅行会社の仕事に対する興味を持ち、メディアの記事や関係する書籍等を読むように心がけて下さい。			
テキスト	教科書:航空産業入門 (株)ANA総合研究所 東洋経済新報社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新航空事業論 井上泰日子 日本評論社</li> <li>・現代の航空輸送事業 三田謙 同友館</li> <li>・エアラインビジネス入門 稲本恵子 編著 晃洋書房</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	航空会社も、宿泊業の専属と言われていた「ホスピタリティ・マインド」の必要性が認識されてきました。すなわち、航空会社も運送の提供のみならず、サービスと言う特別な付加価値が求められています。その付加価値とはどのようなものか、どの様に作り上げて行けるのかを考えていきたいと思えます。サービスを提供している企業は沢山あります。その提供されるサービスには違いがあります。どう違うのか、比較しながら航空会社のサービスの有り方を考えます。世界情勢の変化など、常に周りの状況に関心を持って下さい。ある地域の、ある出来事が、航空会社にどのような影響を与えるかを常に想像しながら、考えて下さい。			
達成度評価に関するコメント	成績評価は、定期試験60%、レポート40%とする。尚、レポートの評価は、出された課題が理解されているか、文章の構成力、表現力、誤字脱字は無いかな等をポイントにして総合的に評価する。			

